



との関係性崩壊や一方的な取引排除等につながり、中小業者に新たな実務負担、納税負担が生じることにもなり、廃業の危機にも追い込まれかねないことから制度の延期、中止を政府に求めるもの。

採決の結果

「賛成少数」で「不採択とすべきもの」と決定しました。

本会議での討論

請願第3号 「インボイス制度の実施の延期、制度の中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書

賛成

福井 節子 議員

インボイス制度は、取引排除や値引きの強要などが心配され、事務も納税も負担増となる。中小業者やフリーランスの方を廃業の危機に追い込み、地域に根ざし活動するシルバー人材センターや中小業者の事業継続を困難にすることから、制度実施を延期・中止すべきである。

反対

早川 浩徳 議員

インボイス制度の実施は、国の経済発展、国際的な信頼性、効率化に向けた重要なステップである。10月から始まるこの制度に対して今行うべきことは、負担増となる事業者に対して、影響や負担を軽減する支援策等を求めることである。

請願第4号 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書

請願趣旨

現行の健康保険証が来年秋に廃止され、マイナンバーカードに一本化されることで、マイナンバーカードの申請・取得・管理・利用に困難を抱える人たちが公的医療保険から遠ざけられ、また、他人の医療情報が誤登録された事例が全国で相次いで報告されるなど、不安が広がっていることから、現行の健康保険証の廃止をしないよう政府に求めるもの。

採決の結果

「賛成少数」で「不採択とすべきもの」と決定しました。



**文教福祉
常任委員会**

委員長 磯部 亜希

議第73号 高島市子ども若者応援ベースの設置および管理に関する条例案

児童、若者および妊産婦の福祉ならびに児童および若者の健全育成を包括的に支援する施設として、新たに「子ども若者応援ベース」を設置するため、条例整備を行うもの。

採決の結果

「賛成全員」で「可決すべきもの」と決定しました。

